

抗 RanBPM (ヒト) 抗体、ウサギ血清

71-001 : 50 μ l, 71-002 : 250 μ l

RanBPM (RanBP9) はスモール GTP 結合タンパク質 Ran と相互作用するタンパク質として同定され、670 kD の複合体を細胞内で形成している。このタンパク質は 729 のアミノ酸を含み、ウエスタンブロッティングで 95 kD のタンパク質として同定される (下図 : Ref.1)。このタンパク質はマイクロチュービルの核形成に働き、他の種々のタンパク質と統合して細胞増殖を制御する。

本抗血清は RanBPM の保存された Phe133~Tyr229 の領域を含む組換え体タンパク質を抗原として西本ら(九大)によって作られた (文献1)。

用途

1. ウエスタンブロッティング (x 2,000 希釈)
2. 免疫沈降
3. 間接免疫法による細胞中の抗原染色

製品の品質

性状 : 0.09%のアジ化ナトリウムを添加した抗血清

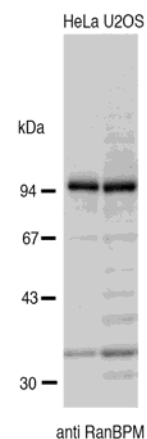
反応性 : ヒト RanBPB。作成に用いた抗原が動物間で良く保存されているので、他の哺乳動物の RanBPM とも反応すると考えられる。

保存 : 4℃

データリンク UniProtKB/Swiss-Prot [Q96S59](#) (RANB9_HUMAN)

文献 本抗体は以下の文献に使用されている。

1. Nishitani H *et al* "Full-sized *RanBPM* cDNA encodes a protein possessing a long stretch of proline and glutamine within the N-terminal region, comprising a large protein complex." *Gene* **272**: 25-33 (2001) PMID: [11470507](#)
2. Umeda M *et al* "A novel nuclear protein, Twa1, and Muskelin comprise a complex with RanBPM." *Gene* **303**:47-54 (2003) PMID: [12559565](#)



関連商品 : #71-001-1 pGFP-C2-RanBPM

(問い合わせ)

図 本抗体 (2,000 倍希釈) を用いた HeLa および U2OS 細胞粗抽出液におけるウエスタンブロッティング